

診療科の概要

呼吸器内科は現在3名の医師で診療に当たっており、主に肺がん、間質性肺炎などの呼吸器疾患、肺炎などの呼吸器感染症、気管支喘息をはじめとしたアレルギー性肺疾患の診療を行っています。日本呼吸器学会関連施設として、呼吸器内科領域において専門性が不可欠な疾患を中心に診療を行っています。

治療内容

- (1) 腫瘍疾患：肺がん、悪性胸膜中皮腫、縦隔腫瘍、良性腫瘍など
- (2) 感染性疾患：重症呼吸器感染症（肺炎、胸膜炎、膿胸、肺化膿症）
- (3) びまん性肺疾患：間質性肺炎、膠原病肺、過敏性肺炎、サルコイドーシスなど
- (4) 気道疾患：気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、慢性気管支炎など

診療実績

	2020年度	2021年度
気管支鏡検査件数	78	114
経気管支肺生検件数	80	85
EBUS-TBNA	24	56
胸腔鏡検査など	4	6

医師紹介

医師名	役職	専門分野/認定・専門等	卒業年次
すどう ゆうた 須藤 悠太	部長	専門分野 ：肺癌、COPD、間質性肺炎、肺高血圧症 日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本呼吸器学会呼吸器専門医 ICD（インфекションコントロールドクター） 緩和ケア研修終了 札幌医科大学医学部臨床講師	平成20年
いとう なつみ 伊東 菜亜美	医師	専門分野 ：呼吸器内科	平成31年
いけだ けんた 池田 健太	医師	日本内科学会、日本呼吸器学会	令和2年

診療予定表

(初診：8:00～11:00)

	月	火	水	木	金
診察1	須藤	池田	伊東	須藤	伊東
診察2（新患）	休診	伊東	須藤	池田	池田

診療部長よりひとこと

呼吸器疾患は感染症をはじめ多岐に渡りますが、高齢化に伴い当院に紹介される肺癌患者は年々増加してきております。気管支鏡検査数は年々増加しており、昨年度の検査数は数年前の倍以上となっています。道北地方で肺癌診療を行う施設は限られており、当院には稚内や留萌など遠方の都市から紹介される患者様も多数いらっしゃいます。最近の肺癌治療は個別化医療が加速しており、治療を行う際には遺伝子解析を行い、患者個人に最適な治療を選択できるようになってきております。また個別化治療に伴い、長期生存される方も多くなる一方で治療法は複雑化してきております。旭川という地方都市ではありますが、最先端の治療を提供できるように日々の研鑽は怠らないように心がけております。